



## The New Color of Money Safer. Smarter. More Secure.

[www.moneyfactory.gov/newmoney](http://www.moneyfactory.gov/newmoney)

報道関係者各位  
2005年9月28日

### 報道関係担当者連絡先：

Dawn Haley または Claudia Dickens、202-874-3019  
財務省造幣局

Rose Pianalto または Jeffrey Smith、202-452-2955  
連邦準備制度理事会

広報課、202-406-5708  
財務省検察局

Penny Kozakos、202-530-4887

### 米国 10 ドル紙幣に新たな装い 2004年シリーズ3番目の紙幣は2006年初頭に登場予定

「新しい色を使った最新紙幣」の新紙幣は、より安全に、より洗練され、そしてより安心に

ニューヨーク — (2005年9月28日) — 米国政府は本日、2006年初頭に流通開始を予定している新10ドル紙幣のデザインを発表しました。新10ドル紙幣には、自由の女神のたいまつを図柄と米国憲法に記載されている「We the People」が描かれているほか、紙幣の判別を容易とする安全対策も施されています。また、オレンジ色、黄色および赤色の薄い背景色が採用されています。

「我々は7~10年ごとに通貨の更新を図り、偽造犯の一步先をいく対策を実施していく予定です」とジョン・W・スノー (John W. Snow) 財務長官は述べています。「今回の新10ドル紙幣、ならびに先行して発表された新シリーズの20ドル紙幣および50ドル紙幣のデザインで強化された安全対策上の特徴は、今後、わが国の通貨に対する世界からの信頼維持に役立つものとなります」

10ドル紙幣は米国紙幣の新しいデザインのシリーズ3番目の紙幣単位で、次回は、100ドル紙幣の新デザイン発表が予定されています。新しいデザインの20ドル紙幣および50ドル紙幣は既に流通開始されています。政府関係者は、通貨の改善された安全性を確保するとともに、常に変化する偽造技術を先回りするために、米国政府は7年~10年ごとに米国紙幣の新デザインの更新を予定していると述べています。



アンナ・エスコビード・キャブラル (Anna Escobedo Cabral) 米国財務省出納局長は「新紙幣の導入に際し、10ドル紙幣およびわが国の通貨の新しい特徴に関する認識向上を目的とした公教育プログラムを引き続き実施していきます。紙幣の安全対策上の特徴とその使用方法を理解した一般市民が、偽造犯の一步先をいく対策の最高の味方となります」と述べています。

ロジャー・W. ファーガソン・ジュニア (Roger W. Ferguson Jr.) 連邦準備制度理事会副議長は、新10ドル紙幣を来年初頭に発行した後も「新札と旧札は、いずれも額面通りの価値を持ち続けます」と述べています。1861年以降に発行されたすべての米国通貨は、今日でも額面通りの兌換が可能です。ファーガソンは「連邦準備銀行はこれまでに通貨を切り下げたことはありません」と述べています。

2003年および2004年にそれぞれ導入された20ドル紙幣および50ドル紙幣と同様に、新10ドル紙幣にも偽造を困難にするための最新の安全対策が施されています。同特徴には、現金取扱い業者および消費者などが簡単に活用可能な特徴として、次の3つの特徴が採用されています。

- カラーシフティング・インク：10ドル紙幣を傾けると、紙幣表面の右下の隅にある「10」という数字が赤褐色から緑色に変わります。
- 透かし：紙幣を光に向けてかざすと、アレキサンダー・ハミルトン (Alexander Hamilton) 財務長官の淡い図柄が彼の大きな肖像画の右側に見えます。図柄は両面から確認できます。新10ドル紙幣のデザインでは、透かしの位置を強調する空白の楕円形が追加されており、以前より透かしの位置が判別し易くなりました。
- 偽造防止糸：10ドル紙幣を光に向けてかざすと、「USA TEN」という細かい文字が反復されている小さな合成繊維の糸が確認できます。合成繊維の糸は肖像画の右側に垂直に伸びています。

「技術の進歩は、米国通貨にとって大きな脅威となっています」とトム・ファーガソン (Tom Ferguson) 財務省造幣局長は述べています。「過去2年間に導入された20ドル紙幣および50ドル紙幣と同様に、今回の新10ドル紙幣のデザインは、現金取扱い業者および消費者により判別し易いため**より安全**になり、偽造犯の一步先を行くよう**より洗練**されており、米国通貨の信頼性をさらに高めるため**より安心**になったと言えます」と述べています。

本シリーズの各通貨単位には米国の自由の象徴が採用されています。自由の女神のたいまつの図柄は、アレキサンダー・ハミルトン財務長官の肖像画の左背景に赤色で印刷され、金属系赤色をした小さいたいまつの図柄は肖像画の右下に見られます。また、米国憲法冒頭の「We the People」という言葉もハミルトン財務長官の肖像画の右背景に赤色で印刷されています。紙幣の両面に、黄色で小さく「10」が描かれています。

消費者が色により通貨の真偽を判別すべきではありませんが、色により紙幣に複雑さが加わり偽造をより困難にしています。額面金額ごとに異なった背景色が使用されており、一般の人々、特に視覚障害のある方々も簡単に金額を見分けることが可能となります。

### 公教育プログラムについて

10ドル紙幣の新たな装いに関する本日の発表とともに、米国政府の国際的な公教育プログラムが本格的に開始され、現金取扱い業者および消費者が新デザインを認識し偽造を未然に防ぐことを目的とした無料教育資料、ポスター、便利な「テイクワン (無料)」カード、研修ビデオおよびCD-ROMが、企業・金融機関・事業団体・市民団体・各個人に提供されます。資料は、[www.moneyfactory.gov/newmoney](http://www.moneyfactory.gov/newmoney) にて発注またはダウンロード可能です。

教育資料は 24 ヶ国語で提供されています。2003 年より、現金取扱い担当者を対象とした、紙幣の強化された安全対策上の特徴に関する研修に活用可能な研修資料が提供されており、企業およびその他の組織からすでに 6,200 万部以上が発注されています。

政府推定によると、偽の 10 ドル紙幣は、本物の 10 ドル紙幣の 10,000 枚につき 1 枚未満です。しかし、デジタル技術を活用した偽札の数は増大しています。米国国内で摘発されたすべての偽造通貨の中でデジタル技術を活用して製造された偽札は、1995 年では 1 パーセント未満でしたが、2004 年には約 54 パーセントにまで増大しました。

安全対策上の特徴の改善、積極的な法の執行および紙幣の判別方法の教育により、多くの偽造が未然に防がれています。

過去 10 年の間にデジタル機器の入手が容易となった結果、デジタル技術を活用して製造された偽札の数が増大しました。技術の進歩によりデジタル技術による偽造がより簡単・安価となったことを考慮し、偽造犯よりも一歩先をいくための対策として、米国政府は 7 年～10 年ごとに紙幣を新しくデザインする予定です。なお、今回、米国政府は、5 ドル紙幣のデザイン変更を行う予定はなく、1 ドル紙幣および 2 ドル紙幣のデザイン変更も予定していません。